



森ノ宮医療学園専門学校

● 第三十六回卒業式挙行 267名が巣立ち

鍼灸学科教員 小林 章子

去る3月13日(日)にホテル大阪ペイタワー(港区)において第三十六回卒業式が挙行されました。

開式前には、3月11日に起こった東日本大震災で犠牲となった方々に哀悼の意を表し、全員で黙祷をささげました。

式では今回、体調不良で出席できなかった安雲和四郎校長に代わり、森俊豪理事長から鍼灸学科・柔道整復学科総勢267名全員に卒業証書が手渡されました。また校長に代わって理事長より「本校で学んだことをもとに、社会人として高い倫理観を持ち、優秀な臨床家として社会に受け入れられるよう努力し続け

られることを希望します。

医療人としての厳しい修養を積んでゆかれるあなた方にとって、学校が故郷としての機能が果たせれば大きい喜びです。学校はいつでも

あなた方を迎え一緒に考えていきます。」という言葉が卒業生に贈られました。各賞の授賞式では、受賞者が読み上げられたものの、本人がトイレに行っていて不在というハプニングもあり、笑いと涙につつまれ、無事に終了し、卒業生は本校を卒業した誇りと、夢や希望を胸に、鍼灸師・柔整師として社会に旅立ちました。

最後に、卒業式ならびに入学式のお祝い饅頭である「鍼灸師・柔整師のたまご」を毎年特別に作ってくださっている岩手県大船渡市のさいとう製菓様もこのたびの東日本大震災で被災されたと聞き、安否を気づかっておりましたが、皆さまご無事とのことがわかり安心した次第です。一日も早く復興され、再びお饅頭を味わえる日が来ることを祈念しています。



● 平成23年度 第三十九回入学式開催

学生支援課 川鍋 史一

4月5日(火)、第三十九回入学式がアネックス新校舎4階講堂にて行われ、鍼灸学科155名、柔道整復学科150名が森ノ宮医療学園専門学校の一員となりました。

今回、アネックス新校舎での初の入学式で、浜田暁校友会会長、日根野文三理事をはじめ非常勤講師の先生方、保護者の皆さんの見守り中、宮崎真維さんが新生を代表して誓いの言葉を述べました。また、式終了後には、シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール全日本チーム総監督で、アスリートネットワークのアドバイザーである高橋 明氏による記念講演が行われました。高橋氏は「想像力と創造力を培ってほしい。それが、障害を持った

人々とともに歩む豊かな社会を創るベースである」と映像を交えて語られ、一同熱心に聞き入っていました。

